

TEMP REPORT

株主・投資家の皆様へ

株主通信

2010年3月期通期のご報告
2009年4月1日～2010年3月31日



テンポホールディングス株式会社

(証券コード:2181)

市場と社会の変化に
適応しながら、
これからも人と仕事を
結び続けます。

2010年3月期通期
連結業績ハイライト

- 売上高 2,246億円
- 営業利益 63億円
- 経常利益 67億円
- 一株当たり期末配当金 6円

アウトソーシング事業の
強化へ向けて、着実な前進。

人材需要の低迷は依然厳しく、
今期決算は売上高2,246億円、
経常利益67億円となりました。

昨今の経済状況をうけ、企業
のニーズが変化するなか、今期は
新たな成長性の確保へ向けた取
り組みを着々と進めてきました。

その1つが、重点テーマに掲げ
るアウトソーシング事業の強化で
す。今期はR&Dアウトソーシン
グ事業に高いノウハウを有する日
本テクニードを子会社化。アウト
ソーシング事業拡大への布石を固
めました。本年4月には、テンプス
タッフにアウトソーシング事業本
部を新設。今後、同事業を新たな
柱として育てていくことで、事業
バランスに優れた、総合的な外部
人材サービス業を目指します。

社会的要請に応える
私たちのビジネス。

今から37年前、私たちは「派
遣」という新しい働き方の選択肢
を日本の社会に提案。もっと柔軟
な働き方を探し求める人々と、そ
のチカラを活かしたい企業の、双
方の支持を追い風に雇用を創造
し続けてきました。テンプグループ
のビジネスとは、社会の要請に応
え、雇用を創造し、人々の成長支
援を通じて社会貢献を果たすこ
となのです。

昨今、派遣業界に対するネガ
ティブな風評が広がったことは、非
常に残念です。しかし、それを契
機にコンプライアンス厳格化の機
運が高まったことは、むしろ喜ば
しいことであり、コンプライアンス
を追求してきた私たちにとっては、
チャンスであると確信しています。

テンプホールディングス
中期経営戦略

地域戦略の強化

各地域事業会社が、地域に根ざしたきめ細かいサービスを提供。各地域におけるシェア拡大を推進します。

専門分野への積極展開

専門化する市場に対し、職種や業界に特化したサービス、ネットワークの拡充を図り、ニーズに応えていきます。

女性の就業支援

子育てママの就職支援やセミナー・カウンセリングなど、少子高齢化による労働力不足解消のカギを握る女性の就業を全面的に支援します。

経営効率の向上

ホールディングス体制による効率化をはじめ、あらゆる面でコスト削減を徹底。堅実な利益成長と健全な財務体質を堅持します。

グローバル市場への積極展開

アジアを中心としたグローバルネットワークへ人的資源を集中し、基盤確立と積極展開を図ります。

代表取締役社長 篠原 欣子

1957年三菱重工業退職後、欧州留学を経て、1971年オーストラリアで就業。1973年帰国後、オーストラリアで知った人材派遣からヒントを得て、テンプスタッフ設立。2000年から10年連続でフォーチュン誌「世界最強の女性ビジネスウーマン」にランキング。2007年企業家大賞受賞。



人と企業と社会のために。

新たな幹を増やし、
成長フィールドは
さらなる拡大・深化へ。

中期経営戦略に掲げる「専門分野への積極展開」「グローバル市場への積極展開」、
そして新たな成長軸の1つ「アウトソーシング事業」について、その取り組みをご紹介します。

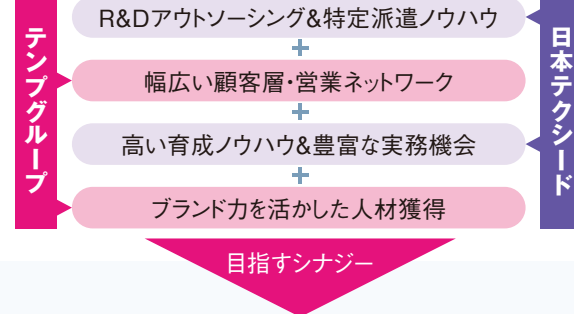
深化する、
専門分野。

R&Dアウトソーシング事業の 日本テクシードを子会社化。

2009年11月、株式公開買付けにより日本テクシードを連結子会社化いたしました。同社は、研究開発のエキスパート集団として、主に自動車・航空機業界に対しR&Dアウトソーシング事業を展開。優秀なエンジニアを育成し、サービス品質の高さには定評のある企業です。今後、テンプグループの強みである全国規模の営業力と高い人材集客力によるシナジーを発揮し、R&Dアウトソーシング事業の積極展開を図っていきます。

▶日本テクシード

●両社の強みと、M&Aによるシナジー



目指すシナジー

事業領域の拡大と収益向上
エンジニア育成の促進
顧客満足度のさらなる向上

2010年5月

ITサポート事業の ハウコムを子会社化。

ヘルプデスク、ITインフラ運用サービスなどのITサポート事業を手がけるハウコムを子会社化。同社の運営ノウハウとインフラを活用し、新たにヘルプデスク事業を開始。人材教育にも注力していきます。

▶ハウコム

2010年3月期は、
さらに2件の大型M&Aを実現。
事業基盤の強化を進めました。

再就職支援 2009年5月

日本ドレーク・ビーム・モリンを
子会社化。

総合人材サービス 2009年7月

富士ゼロックスキャリアネットを
子会社化。
新社名「テンプスタッフ・クロス」
としてスタート。

グローバル 2010年5月

米大手人材サービス会社 ケリーサービスの株式を取得。

グローバル市場への積極展開を強化するため、アメリカの大手人材サービス会社ケリーサービスの株式を取得。今後、両社協業により、企業・求職者の多様なニーズに柔軟に対応できる体制構築を目指し、グローバル市場での競争力を高めていきます。

▶テンプホールディングス

アジア 2009年12月

アジアの雇用動向情報 「アジアHRMレポート」の 配信を開始。

アジア地域の求職者600万人、企業8万社の情報を有するジョブストリートと提携し、「アジアHRMレポート」の配信を開始いたしました。

▶テンプスタッフ

グローバル市場、
拡大へ。

官公庁 2010年4月

新宿区より 地域交流館・児童館の 指定管理者に選定。

保育・託児サービスを手がけるテンプスタッフ・ウィッシュは、新宿区の地域交流館および児童館の指定管理者に選定されました。利用者の安心・安全を保持し、家庭的で温かな運営を目指します。

▶テンプスタッフ・ウィッシュ

販売 2010年1月

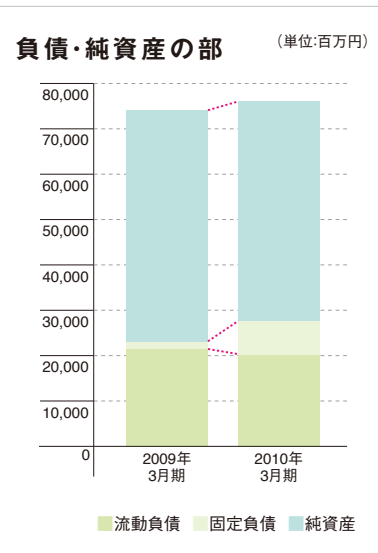
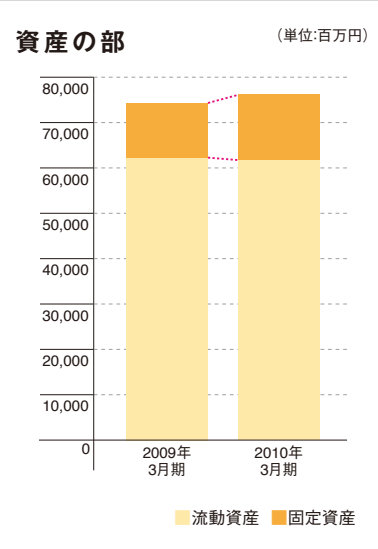
ファッション・雑貨・和洋菓子など ショップ型店舗の 販売代行運用チームを新設。

消費が冷え込むなか、商業施設内のショップ型店舗では、人件費抑制や効率的な販売促進のため、人員配置や運営管理にノウハウが求められています。高まる需要に応え、業界出身者を中心とする販売代行運用チームを新設。売場の運営計画立案から、募集・教育・人員配置・労務管理、さらには売上向上策の提案まで、店舗運営をトータルに支援していきます。

▶テンプスタッフマーケティング
▶パーソナル

広がる、
アウト
ソーシング。

連結決算の概況

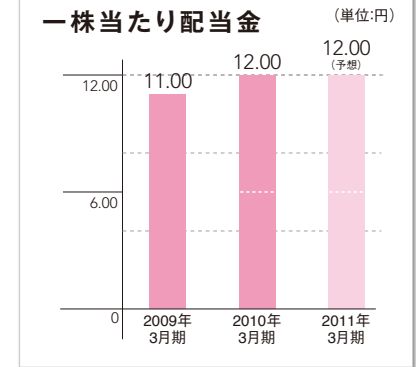
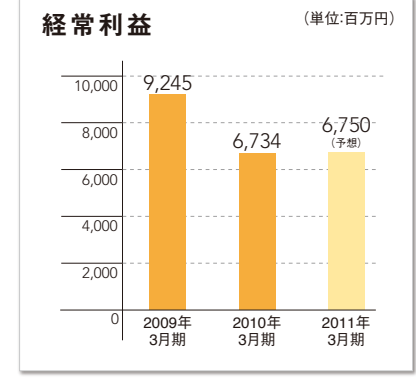
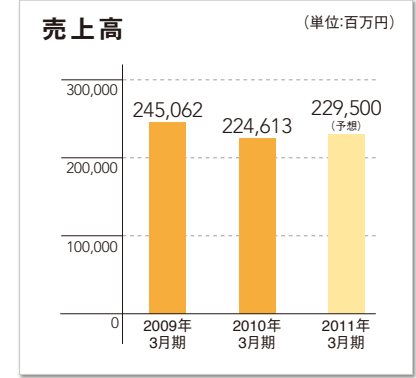


POINT 1
日本テグシードの株式公開買付けや、その他2010年3月期に実施したM&Aにより、資産規模が拡大しています。

POINT 2
自己株式取得とともに、転換社債型新株予約権付社債を発行しました。これは、新株予約権付社債の発行によりゼロ・クーポンで資金調達を行い、一方で、自己株式の取得により資本効率の向上を図る手法です。新株予約権が行使されるまでの間は一株当たり利益が改善され、新株予約権が行使された場合は、自己株式を割り当てることによりキャッシュアウトを防ぐことができ、健全な財務体制を維持することができる資本戦略です。

貸借対照表 (単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減額
資産	73,982	75,912	1,929
流動資産	62,324	61,644	△680
現金及び預金	29,610	28,545	△1,064
固定資産	11,658	14,268	2,609
負債	23,122	27,595	4,473
流動負債	21,434	20,094	△1,339
固定負債	1,688	7,500	5,812
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000	5,000
純資産	50,860	48,317	△2,543
株主資本	49,581	45,778	△3,803
自己株式	—	△5,636	△5,636
評価・換算差額等	△32	46	78
少数株主持分	1,310	2,492	1,181



2009年3月期中間配当は、テンプスタッフおよびピープルスタッフにおいて、それぞれ実施しています。

POINT 1
2010年3月期後半より少しずつ業績は上向いてきましたが、2009年3月期後半からの景気低迷の影響が大きく、需要は全体的に低水準で推移しました。

POINT 2
2009年11月30日に、株式公開買付けにより連結子会社化した日本テグシードの1～3月までの業績が加わったため、新たなセグメントとして位置づけました。

POINT 3
再就職支援事業が好調に推移したことに加え、同事業を行う日本ドレーク・ビーム・モリンの子会社化による効果もあり、大幅伸長となりました。

POINT 4
募集費、広告費など徹底したコスト削減に取り組みましたが、売上の減少に伴う利益の減少を補えず27.2%減となりました。

損益計算書 (単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	増減率	2011年3月期(予想)
売上高	245,062	224,613	△8.3%	229,500
① 人材派遣・請負、人材紹介事業	236,533	211,018	△10.8%	
一般事務職	132,423	114,628	△13.4%	
専門事務職	42,920	38,364	△10.6%	
IT関連技術職	21,449	18,335	△14.5%	
その他	35,032	36,603	4.5%	
人材紹介事業	4,707	3,086	△34.4%	
② R&D アウトソーシング事業	—	2,281	—	
アウトソーシング事業	6,911	6,132	△11.3%	
③ その他の事業	1,617	5,180	220.4%	
④ 経常利益	9,245	6,734	△27.2%	6,750
当期純利益	4,076	2,950	△27.6%	3,000
一株当たり配当金(円)	11.00	12.00	—	12.00

テンプグループでは、時代とともに変わりゆく、企業と働く人のニーズに応えながら、フィールドを確実に拡大してきました。その活躍の場をみることで、ご紹介いたします。生活を取り巻くあらゆる領域に、そのごく一部を

地域戦略の強化 専門分野への積極展開 女性の就業支援

身近な金融機関で

各種金融機関スタッフ

金融業界は、テンプグループが大きな実績をもつ分野の1つです。銀行店舗では、数多くの派遣スタッフが口座開設から投資相談まで幅広い業務をこなしています。今期は、さらなるリテール強化を目指す銀行業界に向けて、テンプスタッフ・ライフアドバイザーが保険業界経験者の特定派遣サービスを開始。今後も活躍の場を拡大していきます。

女性の就業支援

子どもたちのそばで

保育士

女性の就業支援を目指すテンプグループでは、保育分野でのさまざまな取り組みに力を注いでいます。保育施設への人材派遣・人材紹介サービスを積極展開しているほか、テンプスタッフが東京都渋谷区に3カ所、テンプスタッフ・ウィッシュが神奈川県横浜市に2カ所、保育所を運営しています。

ピュア・テンプ代々木上原施設長

子どもたちは、泣くことで何かを伝えようとします。そのメッセージをいち早くキャッチするよう心がけています。思いっきり遊ぶことも、子どもたちの大切な仕事。私たちは、子どもたちのやりたいことを受け入れ、1人ひとりにあった保育を提供することで、子どもとともに日々成長しています。企業理念「人々の成長」を実現している現場です。

専門分野への積極展開 女性の就業支援

お客様相談窓口で

テレマーケティングスタッフ

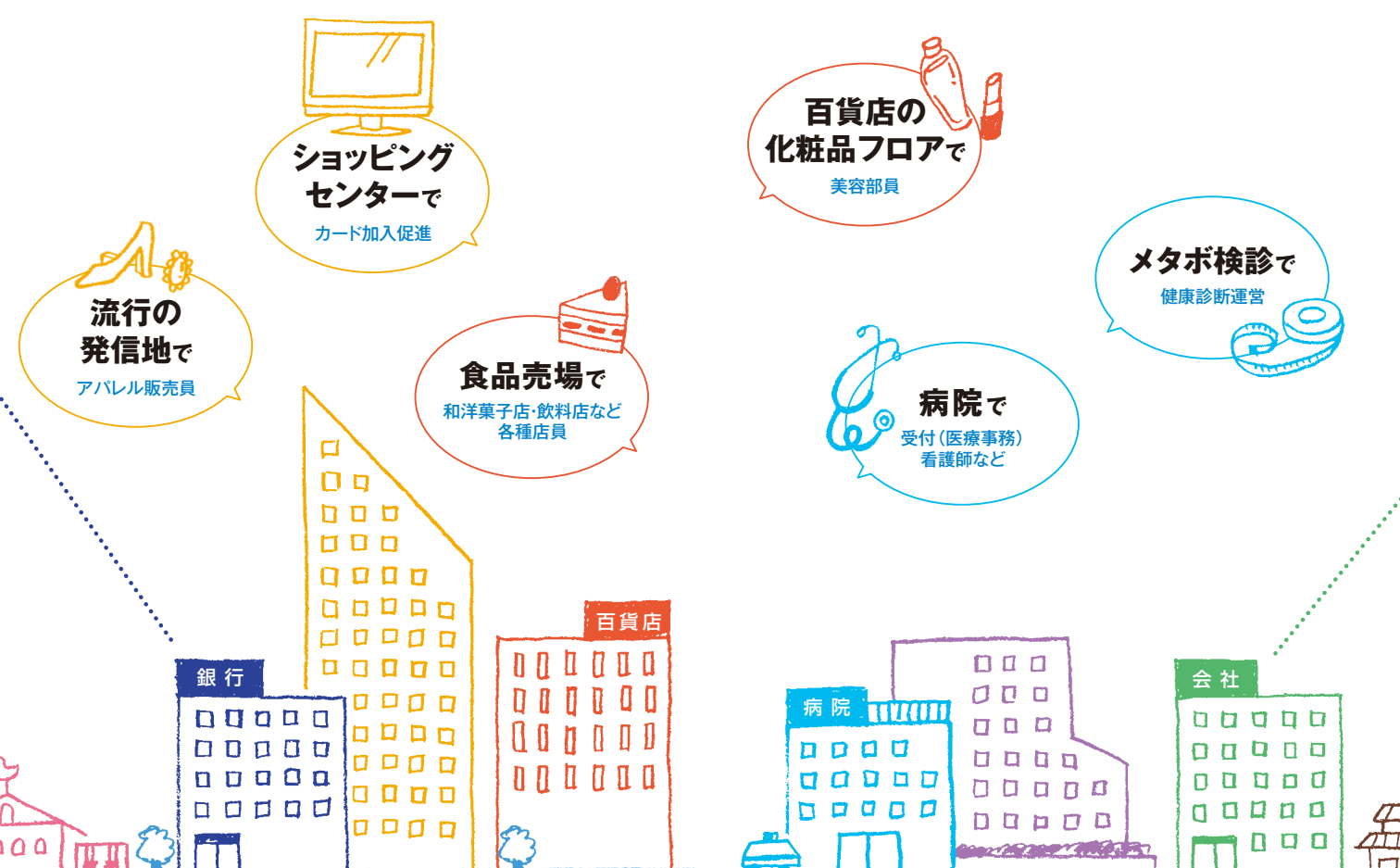
お客様からのお電話にいつでも応えるために、十分な人員体制を要するコールセンターは、人材需要の高い分野の1つです。深い商品知識が求められる業務のため、例えば食品メーカーなら管理栄養士など、専門の人材を求めるケースもあります。幅広い人材提供力をもつテンプグループは、こうしたニーズにも広くお応えしています。

専門分野への積極展開

ご高齢者の暮らしのそばで

介護福祉士 ヘルパー ケアマネージャー

介護は、今後も成長が見込まれる分野でありながら、慢性的な人材不足にあるといわれています。テンプグループでは介護分野に人材派遣・人材紹介サービスを展開し、就業者を対象にヘルパー2級資格取得をサポート。スタッフのキャリアアップを叶えながら、雇用を創出し、人材不足解消に尽力しています。



暮らしのそばに、テンプのチカラ。

社会のために。

私たちのビジネスは、雇用の創造と、人々の成長支援を通じて、社会貢献を目指すもの。事業そのものが、CSR（企業の社会的責任）活動の1つといえます。今後も、人材ビジネスを推進していくと同時に、さまざまな社会貢献活動に取り組み、CSRを追求していきます。



社会貢献活動



障がい者のために

2009年10月 厚生労働省より「障害者雇用優良企業」に認証

障がい者の就労促進に、特に優れた取り組みを行う企業を認証する「障害者雇用優良企業認証マーク(ハートフル・リボン・マーク)」が、Tempホールディングスとサンクスステップに付与されました。

Tempグループでは、障がいのある社員のスポーツ競技活動を就業面と資金面の両面からサポートしています。今後も障がい者のさまざまな可能性の拡大を支援していきます。

女性のために

2009年5月 「第2回ベストマザー賞 2009 企業部門」を受賞

保育所運営をはじめ、女性の就職・復職に対するさまざまな支援活動が評価され「第2回ベストマザー賞 2009 企業部門」を受賞。今後も働きたい女性たちを応援し続けます。

2008年～2009年 乳がん撲滅のために。ピンクリボンキャンペーン実施

乳がん検診の啓蒙・促進活動「ピンクリボン運動」を応援するTempグループでは、オリジナルクッキー販売などを通じて集まった募金225,154円を「乳がんをなくす『ほほえみ募金』」に寄付しました。



人々の成長のために

2010年3月 「第20回Tempグループ・ユースインターナショナルスカラシップ」募集

Tempグループでは、学生、社会人を対象とした海外留学奨学生制度を毎年実施。今期で20回目を数え、これまで1,115名を送り出してきました。今後もグローバルな視点で人々の成長を支援し続けます。

インフォメーション

会社概要 (2010年3月31日現在)

会社名	Tempホールディングス株式会社 Temp Holdings Co., Ltd.
設立	2008年(平成20年)10月1日
代表者	代表取締役社長 篠原 欣子
本社	東京都渋谷区代々木2-1-1
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
資本金	2,000百万円

役員一覧 (2010年6月24日現在)

代表取締役社長	しのほら よしこ 篠原 欣子
取締役副社長	ひびの みきひこ 日比野 三吉彦
常務取締役	みずた まさみち 水田 正道
常務取締役	さぶり としお 佐分 紀夫
取締役	わだ たかお 和田 孝雄
取締役	カール ティー カムデン Carl T. Camden
常勤監査役	ひらが いづき 平賀 稜威喜
監査役	しまだ はるお 島田 晴雄
監査役	あらい かおる 荒井 薫
監査役	たまこし りょうすけ 玉越 良介

株式の状況 (2010年3月31日現在)

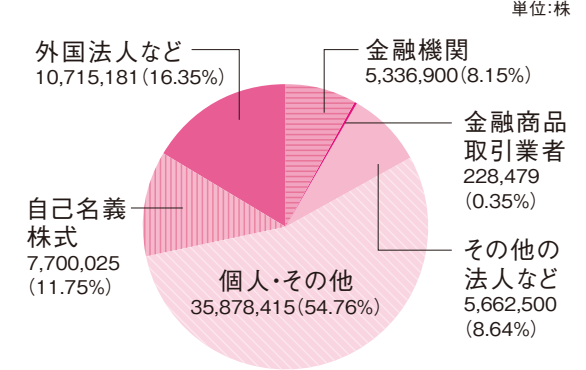
- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 65,521,500株
- 株主数 10,045名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
篠原欣子	23,377,200	40.43
Tempホールディングス株式会社	7,700,025	-
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー	5,547,900	9.59
ケリーサービスジャパン株式会社	3,000,000	5.18
彌富よしみ	1,812,800	3.13
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,760,000	3.04
日興コーディアル証券投資事業組合	1,300,000	2.24
Tempホールディングス従業員持株会	1,264,700	2.18
ウーマンスタッフ有限会社	1,206,000	2.08
山本なな子	1,108,800	1.91
彌富太郎	1,108,800	1.91

※Tempホールディングス所有の7,700,025株は、自己名義株式のため、議決権は保有しません。

株式所有者別分布状況 (2010年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) URL http://www.tr.mufg.jp/daikou/	
	上場証券取引所	
	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.temp-holdings.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

株 式 に 関 す る お 手 続 き に つ い て

■ 証券会社などの口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お 問 合 せ 先	
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
<input type="radio"/> 上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社などにお問合せください。	

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お 問 合 せ 先	
<input type="radio"/> 特別口座から一般口座への振替請求 <input type="radio"/> 単元未満株式の買取(買増)請求 <input type="radio"/> 住所・氏名などのご変更 <input type="radio"/> 特別口座の残高照会 <input type="radio"/> 配当金の受領方法の指定(*)	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	<div style="text-align: center;">[手続き書類のご請求方法]</div> <input type="radio"/> 音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479 (通話料無料) <input type="radio"/> インターネットによるダウンロード ▶ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。